

2019年7月9日

2019年度第2四半期(2019年7-9月期)鋼材需要見通しを取りまとめました

2019年度第2四半期(2019年7-9月期)の鋼材需要量は、前年同期比+0.8%の横ばい、前期比+3.0%の増加の2,301万トンとなる見通しです。その内訳は以下のとおりです。

・国内需要

(建設部門)土木部門で災害復旧工事等の国土強靱化政策に関連した大型公共投資が見込まれるものの、建築部門で住宅の消費税増税前の駆け込み需要の一巡等が見込まれることから、前年同期比で横ばい。季節的要因により、前期比では増加。

(製造業部門)輸出や生産の弱さが続いているものの、新型車導入効果や消費税増税前の駆け込み需要等による自動車需要の増加や、建設機械需要等の堅調な推移が見込まれることにより、前年同期比で横ばい。決算期という季節的な要因により、前期比では増加。

・輸出: 自然災害の影響等で低水準だったこととの対比で前年同期比で微増。前期比では増加。

今期の粗鋼需要量は、2,589万トン。前年同期比+0.9%。前期比+0.3%。

○2019年度第2四半期(2019年7-9月期) 鋼材需要見通し

	鋼材計		
		普通鋼鋼材	特殊鋼鋼材
鋼材需要	2,301万トン	1,799万トン	502万トン
前年同期比	(2,283) +0.8%	(1,782) +1.0%	(501) +0.0%
前期実績見込比	(2,235) +3.0%	(1,744) +3.2%	(491) +2.1%
① 国内需要	1,587万トン	1,232万トン	355万トン
前年同期比	(1,581) +0.4%	(1,227) +0.4%	(354) +0.3%
前期実績見込比	(1,550) +2.4%	(1,199) +2.8%	(351) +1.2%
② 輸出	714万トン	567万トン	146万トン
前年同期比	(702) +1.7%	(555) +2.2%	(147) ▲0.5%
前期実績見込比	(685) +4.2%	(545) +4.1%	(140) +4.6%

(参考)

○出荷等相当粗鋼需要量 2,589万トン

前年同期比 (2,565) +0.9%

前期実績見込比 (2,582) +0.3%

○普通鋼鋼材 メーカー・問屋在庫

前期末(6月末見込み) 707万トン 在庫率 1.26ヶ月

うち国内向け(6月末見込み) 631万トン 在庫率 1.66ヶ月

注) 括弧内は対比する前年同期、前期実績見込みの数量(単位:万トン)

注) 千トン単位で計算しているため、合算値が一致しないことがある。

(本発表資料のお問い合わせ先)
 製造産業局金属課長 黒田
 担当者:篠原、谷内、岸
 電話:03-3501-1511(内線 3661~6)
 03-3501-1926(直通)

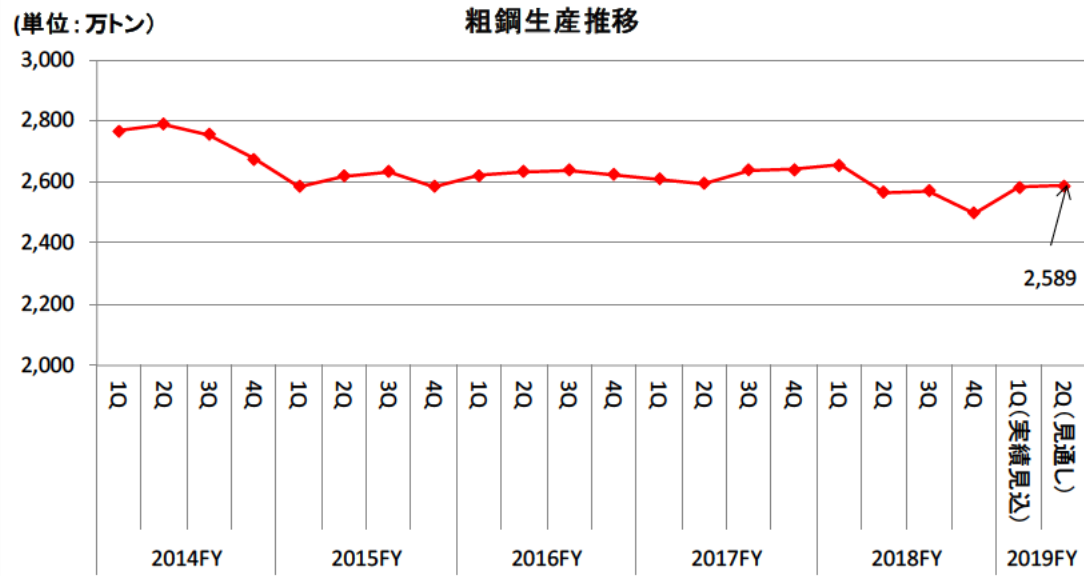
需要見通し参考資料（2019年度第2四半期（2019年7-9月期））

1. 粗鋼生産の推移

（単位：千トン）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
1 Q	27,672	25,858	26,209	26,094	26,564	25,820
2 Q	27,891	26,197	26,334	25,942	25,653	25,885
3 Q	27,537	26,335	26,393	26,395	25,699	
4 Q	26,745	25,839	26,230	26,403	24,970	
合計	109,844	104,229	105,166	104,834	102,886	51,705

注1) 2019年度第1四半期は実績見込み、2019年度第2四半期は見通し。



2. 普通鋼鋼材 部門別国内消費量

（単位：千トン）

部門	2018年度2Q 実績	2019年度1Q 実績見込み	2019年度2Q 見通し	前年同期比	前期比
・建設	5,386	5,034	5,361	▲ 0.5%	6.5%
土木	1,564	1,514	1,610	2.9%	6.3%
建築	3,822	3,520	3,751	▲ 1.9%	6.6%
・製造業	6,884	6,956	6,959	1.1%	0.0%
造船	987	1,033	1,033	4.7%	0.0%
自動車	2,757	2,796	2,770	0.5%	▲ 0.9%
産業機械	1,286	1,279	1,308	1.7%	2.3%
電気機械	768	744	762	▲ 0.8%	2.4%
二次製品	533	555	537	0.8%	▲ 3.2%
容器	273	266	264	▲ 3.3%	▲ 0.8%
その他	280	283	285	1.8%	0.7%
合計	12,270	11,990	12,320	0.4%	2.8%

注2) 数量は需要関連統計等を基に推計。